

## 《Lesson 4》 付加疑問文の答え方

### 《付加疑問文の答え方》

(1) 基本的に普通の疑問文と同じ答え方。

肯定の場合 = **Yes, ~.**      否定の場合 = **No, ~.**

(2) 否定の付加疑問文の場合、答え方が日本語とは逆になるので注意。

#### <例1> You are from Osaka, aren't you? (あなたは大阪出身なのですよ)

『はい』の場合 (私は大阪出身です)

→ **Yes, I am.**

『いいえ』の場合 (私は大阪出身ではない場合)

→ **No, I am not. / No, I'm not.**

#### <例2> Mike didn't go to college, did he? (マイクは大学に通わなかったのですよね)

『はい』の場合 (彼は大学に通いました)

→ **Yes, he did.**

『いいえ』の場合 (私は大阪出身ではない場合)

→ **No, he did not. / No, he didn't.**

### ポイント！会話でよく使われる “right?”

よく会話では、短縮の疑問形を文の最後に足す代わりに **right?** (正しいでしょ?/あっているよね?) が使われます。特に “I am ~.” の不可疑問文の場合、“am I not?” や “aren't I?” の代わりに “right?” がよく使われます。

<例> You can teach math, **right?** (あなたは数学を指導できるのですよね)

I am not late, **right?** (私は遅刻ではないですよ)